

電子ブックは、書籍の内容をデジタル化してインターネット上で全文が閲覧できるようにしたもので、eBook、オンラインブックとも呼ばれています。1990 年代に登場したもののなかなか普及しませんでした。2010 年にソニーやシャープから電子ブックリーダーが発売され電子ブックストアが多数開設、米国で Amazon の Kindle、iPhone や iPad が発売されたことなどにより徐々に普及してきました。本学では 2007 年から購入しています。

電子ブックの利点として、文字や図の拡大、縮小が自在に行えること、自宅のパソコンや携帯端末で場所を限定されずに読むことができること、置き場所をとらないことなどが挙げられます。

図書館ホームページ（以下 HP）にある「電子ブック（学内限定）」のアイコン、「お役立ちツール（学内限定）電子ブック」の横にある虫眼鏡マークから、各タイトルと利用方法などの説明にアクセスできます。その他 HP の蔵書検索（OPAC）や電子ジャーナル検索(SFX)で検索して探すことも可能です。また、「リモートアクセス」（※メルマガ第 81 号参照）を介せば、学外からでも閲覧することができます。

● 『Methods in Enzymology』

生化学、分子生物学分野の研究に欠かせない重要なシリーズで、最近では生命科学全般のテーマを取り扱っています。実験プロトコルがテーマに沿って詳細に記載されており、研究・実験の作業効率向上にも役立ちます。本学では冊子体を継続購入していましたが、薬学部設置を機に電子版に切り替え、創刊号から 2020 年までが閲覧可能となっています。

● 『Maruzen eBook Library』

本学購読の学術書 57 タイトルを利用できます。「不明熱を減らすための外来発熱診療ガイド」「新・霊長類学のすすめ」には、読み上げ機能が付いています。「内科学書 改訂第 9 版」「シリーズ生命倫理学」など人気の図書もあるので、是非ご活用ください。

● 『化学書資料館』

日本化学会の編集による「実験化学講座 初版～5 版」「化学便覧基礎編 改訂 6 版」「化学便覧応用化学編 第 5～7 版」「標準化学用語辞典 第 2 版」などの情報を一括して検索できます。化学分野の参考図書をパソコン上で総合的に検索、閲覧が可能なツールで、用語の意味を辞書で確認しながら、化合物の性質や実験方法を調べるといった作業がスムーズに行えます。「標準化学用語辞典」の検索結果で表示された緑色の用語は化学便覧・化合物データへリンクします。

検索冊数は 151 冊に増え、同時アクセス数に限りはありません。（※メルマガ第 35 号参照）

他にも『今日の診療 Web』『ScienceDirect』『EBSCOhost』『Wiley』『Springer』『Current Decision Support』など、和図書 114、洋図書 5,447 のタイトルを閲覧できます。

一部を除き同時アクセス数に限りがありますので、利用後は「閲覧終了」「ログアウト」等、指示通りに終了してください。電子ブックのメリット・デメリットを検討しつつ閲覧できるタイトルを増やせるよう日々検討しておりますので、是非ご活用ください。

図書館トリアビア

内丸図書館が記念図書館として設立され、今年で 50 年を迎えました。岩手医科大学八十年史を紐解きますと、1972 年 6 月に記念図書館（現 内丸図書館）が独立した建物として新築されたと記されています。創立 120 周年記念誌には、開館を記念して三田定則先生の胸像が 2 階ロビーに設置された当時の写真も掲載されています。季節や光の差し込みの違いで見せる三田定則先生の表情の変化を楽しんでみてはいかがでしょうか。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館